

# みんなの環境

第 24 号 2009 年 12 月 5 日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

## 持続可能な循環型社会をめざして - 3

代表 狩野光子

日本は現在、年間 20 億トンに及ぶ物質を投入し社会を築いています。それらの物質は、いずれゴミになるのを待って様々な形で国内に潜んでいます。江戸時代は下肥まで循環していたわが国がわずかに 150 年の間に、世界一ごみが多い国といわれるようになりました。

3 回目は、私たち厚木市（人口 **226,419** 人）のごみのゆくえを探ってみます。

ごみの総排出量は 85,036 トン..... 1 人当たり年間約 376 kg

そのうち可燃ごみ 69,318 トン..... 1 人当たり約 306 kg

不燃ごみ 2,307 トン..... 1 人当たり約 10 kg

粗大ごみ 2,551 トン..... 1 人当たり約 11 kg

資源ごみ 10,587 トン..... 1 人当たり約 47 kg

市内にごみ集積所が 5,104 箇所も用意され資源集積所は 904 箇所でした。（新システムはごみ集積所 5,104 箇所に対応）

1 日のごみの搬入量が 240 トン前後になり、焼却された焼却灰は約 11% で大型車 2 台で県外の処分場に運ばれています。その費用だけでも年間約 2 億円、全体でゴミの処理費は年間約 30 億円です。

茨城県下妻市に 4,110 トン（焼却残渣）306 トン（不燃残渣）

福島県小野町に 4,101 トン（焼却残渣）306 トン（不燃残渣）

（群馬県草津町の処分場は平成 20 年度工事中のため福島県にお願いをしていた）

神奈川県は過去、他県に多くの廃棄物を運び問題をおこしていたので、地区ごとに処分場を設置し恒久的対策を指導しています。わが町は、いまだに他県に依存していますが、平成 16 年に厚木愛甲環境施設組合を設置し、地区内に最終処分場を清川村煤ヶ谷字西ヶ谷に建設予定で計画をしています。広報クリーンあつあい vol.16 によりますと、施設規模(埋立容量)は 62,000 m<sup>3</sup> で現在の量の残渣を埋めていくと 15 年で 1 杯になります。

貯留構造物はコンクリートの箱型で、外部に浸出水が漏洩しないよう配慮されており現在考えられる、できるだけ事は対応しているように思えます。しかしこんな立派な建造物に、私たちが出したごみの灰が、税金を使って貴重な自然をつぶし、永久に負荷の遺産を残し続けていく事に、このままでいいものかと思案にくれます。

私達になにができるか？それぞれ今を生きる大人の責任として、深く考え行動に移して行きたいものです。

《厚木市資源対策課 20 年度データ提供》

厚木の市民がひとり 1 ヶ月 1 枚のレジ袋削減すると

1 年間で.....27 トンのゴミ減量

154 トンの CO<sub>2</sub> 削減

次号へ続く

# ソーラーカフェ盛況 あつぎ環境フェア



今年も 11 月 1 日の<あつぎ環境フェア>に当会から「ソーラーカフェ」ブースが出展された。ソーラークッカー 6 機種 10 台が賑やかに並べられ、幸いにも天候も晴れたり曇ったりで、晴れ状態のときは実演が効果的に行われた。沸かされたお湯で無料の湯茶サービスが行われ、ポップコーンがどんどん出来上がるのを見ていただけ、仕掛けられていた焼き芋が出来上がっているのがデモされて、クリーンエネルギーの活用であるソーラークッカーの実用性が十分 P R されたと思われる。今回のブースの特徴と状況は以下のようなものでした。

#### 湯茶接待メニューに抹茶を追加

湯茶接待では初めて抹茶がそれなりの提供の仕方ですサービスされ、大変人気があった。

#### 見てもらえるパネル展示

出展機種の説明、ソーラークッカーの効用、そして日常の会の活動等を示す大小 8 枚のパネルが見やすく読み易いように掲示され、熱心に見てくださる方もいて、環境改善の訴えがサポートされた。

#### 簡易型ソーラークッカー製作教室の開催

改善された教材用ソーラークッカーの製作教室が、大きな看板で P R されて開催され、スタッフメンバーの呼び込みも功を奏し、多くの親子連れで賑わい準備した材料は午後 1 時半ごろには底をついてしまった。

運営スタッフの方々の応援とご協力を誠にありがとうございました。

(不破穣一)

# 厚木市内の二酸化窒素による大気汚染は改善

「みんなの環境」第22号では、直近3年間の二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度の測定結果を報告しました。ここでは、3～4年前と最近1年間の結果を図示し、NO<sub>2</sub>による大気汚染の状況を比較します。（これらの図は2009年11月1日（日）に開催されたあつぎ環境フェアで展示したものです）

図1は3～4年前（'05.12、'06.6、'06.12）の結果、図2は最近1年間（'08.6、'08.12、'09.6）の結果です。図1と図2とを比べるとNO<sub>2</sub>による大気汚染は明らかに改善されたことが分かります。3～4年前には環境基準を超え、あるいは環境基準ゾーン内になることがありましたが、最近1年間には問題にならない濃度に低下していることが分かります。日本で発生するNO<sub>2</sub>は減少傾向にあるといわれています（'09.08.08付毎日新聞）。今回の解析ではこれを裏付ける結果になりました。

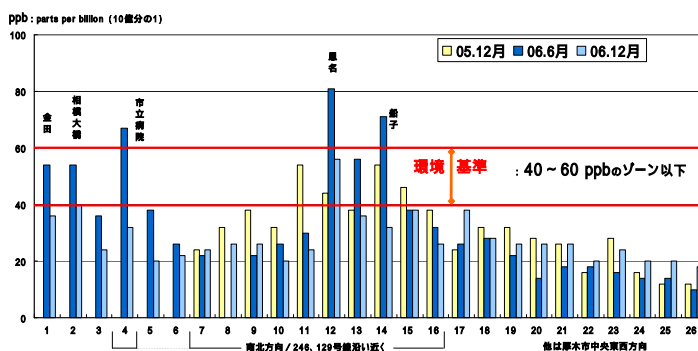


図1 3～4年前の厚木市内の二酸化窒素濃度

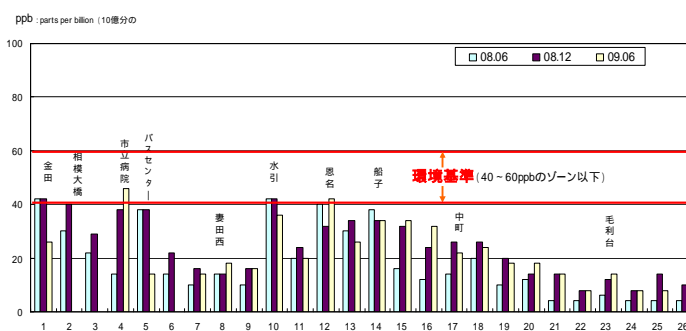


図2 最近1年間の厚木市内の二酸化窒素濃度

（藤田 実）

## ～私たちの活動～

2009年12月のNO<sub>2</sub>の測定は、次の日程で行われました。

- 11月28日(土) : 測定準備（捕集管へのろ紙の充填）
- 12月3日(木)18時～4日(金)18時 : 各測定地点での捕集管の暴露（24時間）
- 12月13日(日) : NO<sub>2</sub>の定量分析予定（神奈川県環境科学センター）

地産地消

恒例 餅つき大会のお知らせ

場所・・・おしょうしなや（牧田農園）

日時・・・12月28日(月)午前9時～

参加費・・・のし餅1枚3,500円お買い求めの方は昼食、食べ放題

昼食のみ・・・500円（あんこもち、からみ餅、きなこ餅）

（厚木市愛甲1499・・・電話228-4936）

## 生ごみ処理機を利用して思ったこと

高橋弘毅

最近、家庭用の電動生ごみ処理機を購入した。参考になればと思い使用状況を報告します。

夫婦二人住まいの生ごみ投入量は、約 400 g /日ですが、マニュアル基準は 400 g ~ 800 g とある。

投入前に残さい処理の条件に合わせる作業が大変である。まるでおままごとをやるようである。具体的には、大きいものや長いもの、硬いものは 2 ~ 3 cm に小さく切る。ネギ類の外皮、メロンの皮、ダイコンの外皮や葉、キャベツの皮や芯、サツマイモ、カボチャ、トウモロコシの芯、鶏の骨、大きなダシ取後の昆布、果物の皮などは機械のシャフトに繊維分の絡み防止のために砕いて投入する。カニやエビの甲羅、卵の殻、魚の骨は焼くと早期に堆肥化するため良好。

維持費用については、わが家の電力使用量が約 1,165 kWh/年 (CO<sub>2</sub> 発生量 501 kg/年) アップする。電力増加分 2,307 円/年。他にバイオ材費 5,000 円/年。

機器購入費 18,000 円が自己負担。

わが家の生ごみ処理機による CO<sub>2</sub> 発生量と市の環境センターで処理する効果はどちらが良いか不明である。効果が明確ならば、電力料金が 2,307 円増加することで環境向上に貢献していると思えば不満ではない。ちなみに 5 月から 10 月まで利用し、花壇の堆肥として機械から取り出したのは、≒ 40 であり思ったより排出量が少ないようである。

設置場所を事前検討することが大切。

電源からの距離、機器のサイズ、残さいの投入方法、処理機の定期的な手入れのし易さ、設置は屋外か屋内か、臭気など導入前に十分検討すること。以上参考になれば幸いです。

## 生物季節を記録しよう 12月~1月の自然

日だまりが恋しい冬になりました。とはいえまだ秋と冬が混ざり合っています。山の紅葉はまだきれいです。わが家での終認記録エンマコオロギの声 11 月 9 日、ベニシジミ 11 月 10 日、モンシロチョウ 11 月 15 日でした。小さな蝶ヤマトシジミはまだ飛んでいます。いつ頃まで見られるのか今のところの関心事です。冬鳥のジョウビタキを最初に見たのは 10 月 26 日、11 月 9 日にはツグミの声が聞こえました。11 月 20 日初霜がありました。これからは冷たい雨が降った後の丹沢の山並みには雪が見えるようになります。地形図と比べて山を見るとどの高さまで雪が積もったか分かりません。日だまりでは春の気配がもう訪れています。ハコベがちらほら咲き出しました。ホトケノザやオオイヌノフグリもひょっとしたらどこかで咲き出しているかも知れません。(12 月 1 日記)

あなたの見聞きしたものを教えてください。見たり聞いたりしたもの。場所(市内だったら地名 丁目くらいまで) お名前・連絡先(場合によっては確認のためお訊ねする事があるかも知れません。発表する時、個人名は匿名にします。)ここに掲載するデータは、紙面の都合で取捨選択させて頂くことはお許しください。情報は FAX (046-222-2356) またはメール (kohji.aoto@nifty.com) で青砥航次へ。

### みんなの環境 第 24 号 2009 年 12 月 5 日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子

電話/FAX 046-224-5010 e-mail: [mitsuko-karino@ayu.ne.jp](mailto:mitsuko-karino@ayu.ne.jp)

事務局 〒243-0817 厚木市王子 2-14-3 山中延明 方

電話/FAX 046-224-9693 e-mail: [ANA40480@nifty.com](mailto:ANA40480@nifty.com)

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 A:2000 円 B:1000 円)

(C)あつぎ環境市民の会 2009